

2015年11月1日 (第169号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉
あなたのなごころを、私は出来ません。
そして、私のすること、あなたには出来ないでしょう。
でも、わたしはあなたに、神様があなたになられたことを果たします。

「いつくしみの特別聖年」を迎え

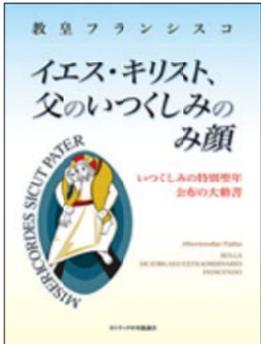
高松教区司教 諏訪榮治郎



私たちの国は「集団的自衛権」の可決によって、時に武器を持って「平和」を構築するという方向に進もうとしています。

御父のよういつくしみ深く・・・

加えて、国を飲み込むとするグローバル化した利益集団、市場経済主義の奴隷となり人間の尊厳が否定され命が蝕まれている現実があります。
そのような闇の力は神への畏敬の念を奪い取り信仰心をすみに追いやるつときえしています。
そんな混沌とした世界に、



つくしみと赦しをもっとわかりやすく語らねばならない。「同時に、長い間、教会を特権のとりで閉じ込めていた壁が崩れ、新たな方法で福音を届けねばならない時が来た」また「教会が厳格さという武器をふりかざすのもいつくしみという薬を用いることを望む」と語ります。

特別聖年の概要

4月11日に教皇フランシスコが公布された「いつくしみの特別聖年」布告の勅書は、全25章からなっています。



この特別聖年が今年12月8日の無原罪の聖母の大祝日に始まることについて、教皇は、マリアの無原罪の

生き方変える機会に 12月8日から来年11月20日

この特別聖年が今年12月8日の無原罪の聖母の大祝日に始まることについて、教皇は、マリアの無原罪の

すべての人間が尊重され 貧困や飢餓と戦う勇気を

「正義と平和」全国大会に参加して 尾崎寿一

9月21日から3日間の流れ(少数派による支配)や、従軍慰安婦問題、50年村山談話、70年安倍談話を分析して、「大切なことは、人間の尊厳が護られるか」という事であると述べられた。
三日目に、社会司教委員会の松浦信司司教(難民移住移動者担当)、菊池功司教(カリタス担当)、勝谷太治司教(正義と平和担当)の3司教によるシンポジウムがあり、司会の松浦司教から、第2バチカン公會議以降、閉ざされていたカトリック教会を、社会に開いていったことの説明があった。



全国から東京カテドラルの大会に集った善意の人々

そして「現代世界宣言」・「戦後70年司教団メッセージ」を中心に、食と戦う勇気を持たなければなりません。」と語られた。
3日間の正義と平和東京大会に参加して、私は自分が度々福音から離れて行動していることに気づかされた。これからは福音のメッセージを受け止め、考え、愛に基づいて行動することを目指して、祈り、行動出来る自分でありたい。

この大会の目的は、すべての人の人権が尊重され、平和な世界が実現されるために私達に何が出来たのかを学び、考えることである。

つくしみの神だけの態度ではなく、わたしたちもまたいつくしみを生きるように招かれていると強調し、「御父のように、いつくしみ深く」とこの聖年の motto を掲げられました。

この聖年を、生き方を変える機会として示しながら、続ける神に驚きを感じてくださる皆さまに、心より感謝致します。

はばたき

早くも今年もまもなく待降節がスタートします。私たち一人一人が主のご降誕を迎えるに相応しい準備に勤しんだ後は、その時が来るのを心穏やかに待ちましよう。心躍らせながら待ち望むには、ただ漫然と指をくわえているのではなく、迎える環境を築くべく積極的に行動してこそ、待つ楽しみは増すものです。本年三月に発行された教区報165号より本欄「はばたき」を担当させて頂いて参りましたが、この169号を以てペン欄を閉かせて頂きます。そこで、これまでの各号を再読して頂くためのきっかけとして、以下にネタばらしを試みます。執筆にあたり、一貫して目指したテーマは、カトリックの礎である「愛」です。しかし、これまでの原稿中を探して頂いても、生憎、一カ所しか見つからないでしょう。では、「ai」なら如何でしょうか。勿論、そのままでは発見できませんが、その前に子音を一つ加えてみると、多くの漢字が作り出せます。
「灰」・「再」・「采」・「叁」・「休」・「丙」・「外」・「待」。かなり無理をして言葉を繋いだ箇所も散見されますが、そこに通底している「愛」を感じ取って頂けることをご期待申し上げます。次号担当者さまにバトンをお渡しします。永らくご愛読くださった皆さまに、心より感謝致します。

小教区紹介

桜町教会 (香川)

私が桜町教会の議長を務めた4年間の桜町教会についての振り返りを中心に、この4年間で桜町教会の議長として目指してきたものについて、以下5点を挙げたいと思います。

①信徒総会のあり方の見直し
②小教区内での信徒の交わりの強化
③中学生になる教会を離れてしまう若者をもっと意見交換が出来るようにする
④初めて教会に来た方への対応
⑤その他

①信徒総会のあり方の見直し
②小教区内での信徒の交わりの強化
③中学生になる教会を離れてしまう若者をもっと意見交換が出来るようにする
④初めて教会に来た方への対応
⑤その他

司教座聖堂として様々な模索



桜町教会での国際交流風景

①信徒総会については、全信者から意見を聞き、評議会での決定事項を周知する場という位置づけから事前アンケートを行い総会の中で集約したアンケートを披露し、意見交換の形式に変更しました。

例えば今年度は、病者・高齢者訪問について、これまでの経験で良かったと思うことや残念に思うこと、また、また経験のない方への提案や思っている事をアンケート用紙にご記入いただき集約しました。

③中学生以上の若者の教会離れについては、長年の課題ですが、決定的な手立てがない現状です。ただ月1回行われる「子供と共に捧げるミサ」の伴奏を青年たちに手伝っていただくよう声を掛けておられます。

④教会に来られた方への対応については、2年続けて意見交換会のアンケートの題材にするほど大事なことで考えておられます。その意見交換会の中で現状の共有や問題点、今後の対応等

⑤司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

⑥司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

⑦司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

⑧司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

⑨司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

⑩司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

⑪司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

⑫司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

⑬司教座聖堂としての対応については、ここ何年という単位ではなくずっと以前から桜町教会の皆さんはその意識が非常に高く、とても協力的にお手伝いしていただいております。

子どもの話をよく聞こう

教区教会学校リーダー研修会

朝が少しだけ過ぎたや、第41回カトリック高松教区「教会学校リーダー研修会」が、徳島教会で開催されました。



Sr. 景山 (前列中央) を囲む教区教会学校リーダーたち

今年講師に、援助修道会の景山あき子シスターを迎え、テーマは『今、教会学校にできること』でした。シスターは、40年以上修道会を通し、子ども達のために働いておられます。

「こじか」や「うれしい初聖体」などの執筆活動でご存じの方も多いと思えます。参加者は34名で、愛媛からもおられました。

大切なことは、子どもを喜んで迎えることだと、再確認しました。

「シスターには、大切にされていくという実感が必要です。まず、子どもの話をよく聞きなさい。聞いてもよい聞きなさい。聞いてもよい聞きなさい。」と、おっしゃいました。

「シスターは生涯を通して子ども達に愛を注がれています。シスターから頂いたお恵みを、少しでも子ども達に伝えていけたらと思います。」

「シスターは生涯を通して子ども達に愛を注がれています。シスターから頂いたお恵みを、少しでも子ども達に伝えていけたらと思います。」

「シスターは生涯を通して子ども達に愛を注がれています。シスターから頂いたお恵みを、少しでも子ども達に伝えていけたらと思います。」

「シスターは生涯を通して子ども達に愛を注がれています。シスターから頂いたお恵みを、少しでも子ども達に伝えていけたらと思います。」

あみものカフェで交流の輪

道後教会 長岡由美子さん (52歳)



編みものをする長岡さん

「あみものカフェ」は、毎月第4水曜日の午後2時から開かれています。お話し役は長岡由美子さん。「あみものカフェ」は、毎月第4水曜日の午後2時から開かれています。お話し役は長岡由美子さん。

「あみものカフェ」は、毎月第4水曜日の午後2時から開かれています。お話し役は長岡由美子さん。「あみものカフェ」は、毎月第4水曜日の午後2時から開かれています。お話し役は長岡由美子さん。

道後教会 丸尾修

神学生便り 交流の喜び素晴らしさ

神学科2年 高山徹

神学院4年目の夏休みを振り返りながら、この記事を書かせて頂いております。夏休みならではの体験学習と共に、研修にも与らせて頂きました。少しご報告させていただきます。



広島教区での錬成会の一コマ

肝に銘じる所です。研修としては、高松教区免許状更新審査より生きる力等という目標が打ち出され、「自ら立ち他者と共に生きる人」になることが目指されています。ある講師の方の「異なる他者と共に：中々一致しませんが、それでも尊重することほできる」という言葉が印象的でした。

省みて、私自身が、神学生として「養成される身」であることに心を留めずにはいられません。神学生として折り返し時期を過ぎ、残りの養成期間も大切に一つ一つを受け止めることと同時に、少しずつ頂いたものを返して行きたらと思っております。これからの出会いを、共に生きることをテーマにして参ります。

神さまとの関係を結んでいくお手伝いをする使命を有していると感じました。学校(教会学校も含め)

神さまとの関係を結んでいくお手伝いをする使命を有していると感じました。学校(教会学校も含め)

貧しい人に食事提供し7年 松山教会のボランティアグループ



食事作りに大忙し

「生活に困っている人たちに幸せの分かち合いをしよう」と松山教会のボランティアグループが毎週水曜日に食事の提供を続けています。今年も7年目を迎えています。

水曜日の午後になると、待っている生活に困っている人たちが教会前に集まっています。水曜日の午後になると、待っている生活に困っている人たちが教会前に集まっています。

水曜日の午後になると、待っている生活に困っている人たちが教会前に集まっています。水曜日の午後になると、待っている生活に困っている人たちが教会前に集まっています。

新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」 日本語改訂訳に基づく変更箇所

2015年11月29日(待降節第1主日)から実施

カトリック中央協議会は司教常任委員会と典礼委員会が検討した結果、ミサの式次第改訂に関する認証をバチカンから得られるまでは、総則改訂訳の公表は差し控えることになりました。

【ミサ全体に関する留意事項】

◆司祭、助祭、奉仕者の席

①司式司祭の席は内陣に用意する。

②助祭の席は、司式司祭の近くに置く。

③奉仕者の席は、司祭・助祭の席と明確に区別する。

◆動作・姿勢

①参加者一同が共通の姿勢を守ることに従って、祭儀に集まったすべての人の一致がしるしとして表されます。個人的な好みや自由裁量によって決めることは望ましくありません。

②日本の適応として、ミサの中では立つことと座ることを基本的な姿勢にする。

③立つことが定められている場合でも、健康上の理由や他の重要な理由がある場合は座ることができま

④日本の適応として、パンとぶどう酒の聖別するとき、会衆はひざまずくのではなく立つまま手を合わせます。そして、聖別の祈りの後、司祭・助祭とともに手を合わせて深く礼をする。

②磔刑のキリスト像のついた十字架がすでに祭壇近くにある場合は、行列用十字架は他のふさわしい場所に置く。

③入堂行列の時に連んだろうそくは、祭壇の上もしくは祭壇近くへ置く。

◆内陣にある聖櫃への表敬

①聖櫃が内陣にある場合、ミサの始めと終わりに聖櫃に表敬する動作が加わる。

②日本の適応として、司祭・助祭と他の奉仕者は聖櫃の前で立つまま手を合わせて深く礼をする。

③その後、開祭以降のミサ中の表敬は省く。

◆祭壇への表敬

①祭壇前で司祭・助祭と奉仕者が手を合わせて深く礼をし表敬する。

②司祭・助祭は、日本での適応として、両手で祭壇に触れて深く礼をする表敬が加わる。

③共同司式司祭が行列に加わる場合も同様に祭壇に両手で触れ深く礼をして表敬する。

④共同司式司祭の人数が非常に多かったり、健康上の理由など正当な理由で行列に加わらずにすでに着席している共同司式司祭は、祭壇に表敬する必要はない。

◆祭壇の装飾

①典礼季節や祝祭日の特徴を考慮し節度を守る。

②日本の適応として、四旬節の特徴をふまえて控えめに祭壇を花で飾ることが出来る。

◆司祭の祭服

①司式司祭はアルパヒストラの上にカストラ(プラネタ)を着用。

②祭壇の上はろうそくを置く場合、パテナとカリスが会衆からはっきり見えるようにする。

③その日のミサへの短い導入は、司祭だけでなく、助祭もしくは信徒の奉仕者が行うことも出来る。

④一回心の祈りへの招きの後、一同が自らを振り返ることが出来るよう、短い沈黙のひとときを置く。

◆心の祈り

①ミサの回心の祈りにおける司祭のゆるしのことばは、ゆるしの秘跡としての効果をもたらすものではない。

②『典礼憲章』30条では「聖なる沈黙」を守るように求められている。日本の適応として、第1・第2朗読の後、朗読された神のことばを味わうために、答唱詩編とアレルヤ(詠唱)が始まる前に沈黙のひとときを置く。

③『典礼憲章』30条では「聖なる沈黙」を守るように求められている。日本の適応として、第1・第2朗読の後、朗読された神のことばを味わうために、答唱詩編とアレルヤ(詠唱)が始まる前に沈黙のひとときを置く。

◆朗読台の使用

①聖書朗読は、神のことばの食卓である朗読台から行う。

②朗読台はことばの奉仕のみに用いる。

③朗読する司祭は、福音書に十字架のしるしをしな

④朗読する司祭は、福音書に十字架のしるしをしな

◆朗読の務め

①ミサの中の聖書朗読の務めは、司式者ではなく朗読奉仕者の務めであり、洗礼による祭司職の行使となる。

②福音朗読は助祭の務め。助祭不在の場合は他の司祭によって行われる。

◆説教

①説教を信徒に委ねることが出来る。

②説教は自席、朗読台、もしくはふさわしい場所に立つて行う。

③説教の後、すぐに信仰宣言を行う。

④意向は、朗読台もしくは他のふさわしい場所から唱える。

◆共同祈願

①意向は、朗読台もしくは他のふさわしい場所から唱える。

②意向を唱える務めは洗礼による祭司職の行使なので、助祭、先唱者、朗読奉仕者、信徒がその務めをたす。

③この表敬の後、司祭・助祭と他の奉仕者は祭壇の前で手を合わせて深く礼をしてから退出

◆供えものの準備

①共同祈願が終わると一同は着席する。

②供えものの行列が行われ

③供えものの準備

④献香する場合、司祭はパ

◆聖体授与の臨時の奉仕者

①臨時の奉仕者は司祭が拝

②奉仕者は、司祭・助祭か

◆退堂

①退堂の時も、入堂行列と同様に司祭・助祭の祭壇

へを表敬が加えられた。

②共同司式司祭は、退堂時には両手をついての祭壇表敬は行わない。

◆感謝の典礼

①意向は、朗読台もしくは他のふさわしい場所から唱える。

②意向を唱える務めは洗礼による祭司職の行使なので、助祭、先唱者、朗読奉仕者、信徒がその務めをたす。

③この表敬の後、司祭・助祭と他の奉仕者は祭壇の前で手を合わせて深く礼をしてから退出

◆供えものの準備

①共同祈願が終わると一同は着席する。

②供えものの行列が行われ

③供えものの準備

④献香する場合、司祭はパ

◆聖体授与の臨時の奉仕者

①臨時の奉仕者は司祭が拝

②奉仕者は、司祭・助祭か

◆退堂

①退堂の時も、入堂行列と同様に司祭・助祭の祭壇

美しい自然の中歩き 聖なる殉教者を想う 岡山県の鶴島を巡礼

「10月の三連休は、岡山の鶴島という島へ行く予定です。」同僚に連休での過ごし方を聞かれ、そう元気よく答えた。だが、「つるしま」と同僚は怪訝そうに首を捻るばかり。私は面を喰らってしまった。鶴島が無人島で船すら出ない土地だとききはまた知らなかったのだ。

岡山教会で鶴島巡礼の案内を見た。鶴島に暮らす殉教者の墓地がある小高い丘まで坂道を歩く。相当数の参加者が列をなして祈りを唱えており、もちろん私の耳にも入ってくるのだが、森には全く不思議な静けさがあった。余計なことを何も考えさせない静寂な空気の中で、私は無心になって歩いていた。

ミサは、僅かに切り開かれた墓地と記念碑がある丘で成したという話である。恥ずかしながら、大学時代あれだけお世話になったにも拘わらず無知であった。私が今カトリック信者として歩んでいることと聖地・鶴島は切っても切り離せない縁があると実感したのであった。

神様は鶴島巡礼を通して、思いつきで申し込んだ無知な私に、信仰上での気づきとして新しい人との出会いという大きな恵みを与えてくださった。来年は前後からの徒歩巡礼に挑戦してみたい。殉教者への畏敬の念と花束を忘れず。

岡山教会
三好幸知恵



船着場から殉教者墓地がある丘へ迎える巡礼の列

